



11月号  
[No.468]

# 二小だより

横浜市立港南台第二小学校 横浜市港南区港南台 5-4-1  
電話 045-831-7676 FAX 045-833-9742

## 自分たちの手で創り上げる

副校長 田中 和賀子

校舎を囲む木々の葉も色づき、落ち葉舞う季節となりました。朝と日中の寒暖差が感じられる中、体調管理のために水分補給用の水筒や脱ぎ着のしやすい衣類の準備など、登校時にも様々なご配慮いただきありがとうございます。全国的に例年より早いインフルエンザの流行期を迎えました。本校でも流行の兆しがうかがえ、何度か感染拡大防止のため学級閉鎖の対応をとりました。併せて、せっけんでの手洗い、換気、給食時の約束など基本的な感染予防対策を再確認して取り組んでいます。「実り多き秋」「学びの秋」の実現が叶うよう、保護者の皆様と協力して「元気」な体づくりに努めてまいります。

さて、10月18～19日には、4・5年合同愛川宿泊体験学習を実施しました。子どもたちが考えたスローガンは、『フラワースター5×ONE TEAM～4年生×5年生 力を合わせて自分たちの手で創り上げる 最高の体験学習に～』です。

宿泊体験に向けて、「しおり」「式」「レク」「キャンプファイヤー」の係に所属し、計画・準備段階から時には、5年生が宿泊体験学習の経験者としてリードをし、時には4年生が新鮮なアイデアを出しながら進めました。思い通りにいかないことにイライラすることや、初めての活動に不安になることもありました。それでも、力を合わせ、努力や工夫をたくさんしながら、一人一役それぞれが責任をもって取り組まなければならない場面でも、ひたむきに打ち込み、いきいきとやり遂げる姿が見られました。4年生の宮ヶ瀬ダム見学では、ダムの放流を真正面から見て、音を聴き、水しぶきを浴び、わ



き上がった興味・関心を質問にかえ、「水とエネルギー館」館長さんにぶつけました。5年生は、体験工房にて、藍染・陶芸・木竹・機織りの中から選んだ体験に、夢中になって根気強く取り組み、形作る喜びを感じ取りました。愛川ふれあいの村では、自分たちで計画したレクやキャンプファイヤーで大いに盛り上がりました。そこには、笑顔と充実感があふれていました。愛川の自然の中、本物に触れ、実体験を通しての貴重な学びが得られたことと思います。活動中、子どもたちが何度も口にしていた「自分たちの手で創り上げる」という言葉をこの学習を通して実現させていました。



11月の全校縦割り「ふれあいハイキング」に向けて、子どもたちが「自分たちの手で創り上げる」活動を始動しています。引き続き、ご支援・ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。